

【生育状況】「うた乃」定植後の管理について

農業研究所では2次育苗苗を花芽分化確認後の9月14日および17日に定植し、10月14日時点で全て出蕾済みで一部の株では開花が始まりました。

小さな単棟ハウスなので過剰訪花を防ぐため、開花が揃うまでは受粉用ハエを、10月終り頃にミツバチを導入する予定です。また10月下旬にマルチ被覆予定です。

本圃直接定植苗は7月23日及び8月6日に定植し、8月26日から窒素中断を行い、花芽分化確認後9月19日から液肥施用を再開しました。10月14日時点で7月23日定植区では出蕾が揃い、8月6日定植区でも約半数が出蕾しています。

乱形果の発生を抑えるため草丈は25cmくらいまでとし、旺盛にしすぎないように注意してください。サイド換気についても夜温が7℃前後になる頃までは開放したままで、温度管理が高すぎにならないよう注意してください。温度管理の目安は最低5℃、最高25℃です。

【参考】農業研究所での10月14日時点の「うた乃」栽培状況



二次育苗 9/14 定植区



本圃直接定植 7/23 定植区

施肥　：養液土耕6号　給液EC：約0.4 mS/cm　排液EC：約0.2 mS/cm

給液量：株あたり約195ml（2分×3回）/日

生育状況

【二次育苗 9/14 定植区】

草丈：20～25 cm、葉柄中硝酸イオン濃度：2,960mg/l

【本圃直接定植 7/23 定植区】

草丈：約20 cm　、葉柄中硝酸イオン濃度：670mg/l